

事業名	若者ケアラーの早期発見と支援に向けて 若者ケアラー実態調査の結果		
ここが ポイント	◆区内の若者ケアラーの存在や実態を把握して必要な支援策を検討するため、全国初の実態調査を行いました。 ◆結果から見えた課題を踏まえ、今後の支援につなげていきます。	事業費	5,433 千円
概 要	令和 6 年 6 月に「子ども・若者育成支援推進法」が改正され、支援すべき対象として、家族の介護その他日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者が明記されたことを受け、区内の若者ケアラーの存在や実態を把握し、必要な支援策を検討するため、全国初の若者ケアラー実態調査を実施しました。 調査対象 18 歳～39 歳の区民（10,000 人を無作為抽出） 調査方法 調査票を郵送、紙媒体かオンラインで回答 調査期間 令和 6 年 12 月 16 日～令和 7 年 1 月 7 日 回 答 数 1,989 件 調査結果の詳細はこちら ▶ 		
	若者ケアラー実態調査の結果 概要 「現在ケアをしている」と回答した人 6.8%のうち  ● 自分が若者ケアラーであると自覚している人は 31.4%でした。 ● 4 割以上が相談経験がなく、5 割以上がケアを「精神的に辛い」と感じていました。 ● 6 割以上が進路、就職、恋愛などの人生の様々な選択において、制限を受けていました。 結果から 見えた課題 → 自覚や認知度の低さ、相談機会の少なさ・孤立、学業や就労等の制限 調査結果を踏まえた今後の支援の取組 ● 若者ケアラーに関する理解促進と支援制度の認知度向上 若者ケアラーに関する理解促進や既存の支援制度の認知度向上に向けた取組を推進し、支援対象者の早期把握と切れ目ない支援につなげます。 ● ケアによる孤立感や精神的負担の軽減 若者ケアラーの孤立防止や精神的負担の軽減に向け、ピアサポートやカウンセリングなどの精神的な支援策を検討します。 ● 関係機関等と連携した多面的な支援 ヤングケアラー支援コーディネーターを中心に、関係機関や民間企業と連携し、学業・就労支援やレスパイト支援などの多面的な支援につなげます。		
問合せ 	所 長 子ども家庭支援センター 石原 ☎ 03-5962-7204（直通）		
	係 長 子ども家庭支援センター 地域連携担当 高橋 ☎ 03-5962-7211（直通）		